

TOSO

ロールスクリーン

マイテック 小窓

取扱説明書 No.R-120016

初版

取扱説明書（保証書付き）

このたびは、弊社製品をお買い上げいただきありがとうございます。
安全にご使用いただくために良くお読みいただき、大切に保管してください。

販売店様・施工業者様へのお願い

本書は、お客様が本製品を適切にご使用いただくための説明・注意事項が記載されております。必ずお客様にお渡しください。

目 次

■ 安全上のご注意	2
■ 製品全体図及び部品名称	4
■ 製品の取付方法/取外し方法	5
■ 操作方法	8
■ スクリーンの昇降スピードの調整方法	9
■ スクリーンの洗濯方法/ウォッシュャブル対応スクリーンのみ	11
■ スクリーン巻きずれ対処方法	14
■ メンテナンスシール	15
■ 交換スクリーンの発注方法	16
■ “故障かな”と思ったら	17
■ お手入れ方法	18
■ 梱包材の処理方法	18
■ 製品保証書	19

安全上のご注意(必ずお守りください)

※ 本書は、お買い上げいただいた製品を安全にご使用していただくために特に注意していただくことを表示してあります。取付け前に必ずお読みいただき、適切な取扱いをお願い致します。

● 本書では、表示内容を無視して誤った使い方をした時に生じる、危険や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。



警告

製品の取扱いを誤った場合、死亡または重傷を負うことが想定される危害の程度を示しています。



注意

製品の取扱いを誤った場合、傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害損害の程度を示しています。

● 本書では、お守りいただく内容の種類を、次の図記号で区分し説明しています。



製品の取扱いにおいて、その行為を「禁止」する図記号です。



製品の取扱いにおいて、指示に基づく行為を「強制」する図記号です。

■ 取付け上のご注意 (取付け前に必ずお読みください)



警告

- 付属のブラケット取付けネジは木部用です。木部以外には使用しないでください。
- ❗ 本製品を取付ける下地の強度や材質を確認し、施工してください。確実に下地に取り付けていない場合は落下の原因になります。
- ❗ 取扱説明書に記載されているブラケット取付け数量と取付け位置は必ずお守りください。本体が落下する恐れがあります。



注意

- 本製品は屋内用です。屋外へは取付けしないでください。
- 高温多湿の条件下や水に濡れることが予想される場所へは取付けしないでください。
- ❗ 製品は、水平に取付けてください。
- セットバーをつかんで製品を持つのはおやめください。故障の原因となります。



■ 使用上のご注意 (ご使用前に必ずお読みください)



警告

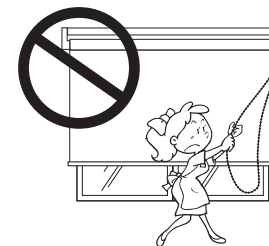
- コードやチェーンが体に巻きついたり、引っかかるようなことをしないでください。事故の恐れがあります。



日本ブラインド工業会

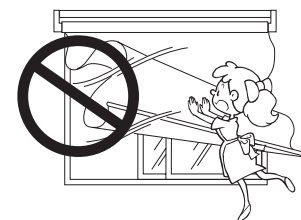
- 製品に物を吊り下げたり、ぶら下がらないでください。製品が破損したり、落下する恐れがあります。

- 急激な操作や無理な操作は、絶対におやめください。製品の落下や、破損などの恐れがあります。

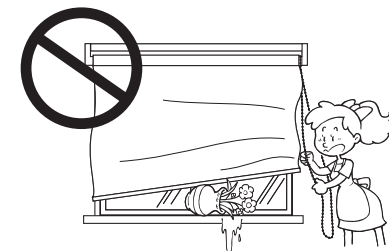


注意

- 強風の時は、必ず窓を閉めるかスクリーンを巻上げた状態にしてください。
- メカ部の分解や可動部への注油は、破損や故障の原因となりますので絶対におやめください。
- 火のそばでの使用は絶対におやめください。



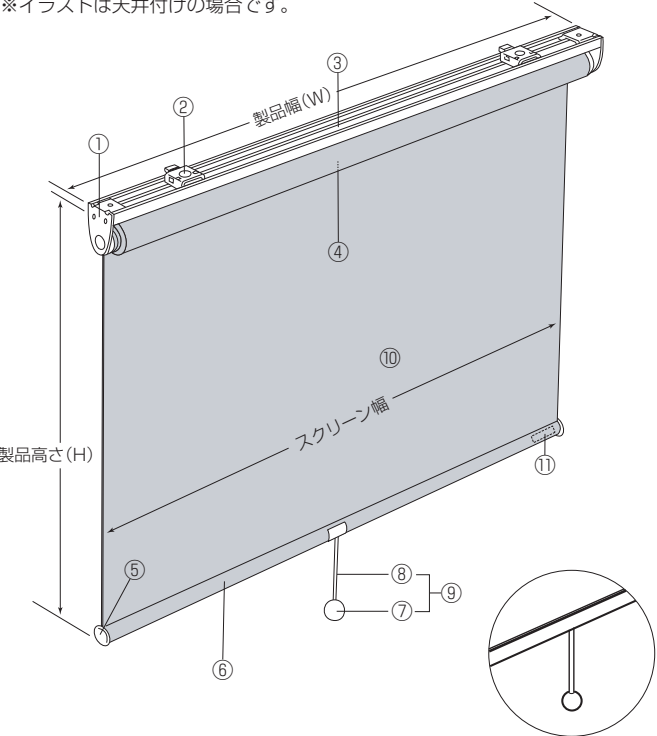
- 必ずプルコードを持って操作を行ってください。スクリーンやローラーパイプ、ウエイトバーを持って操作を行わないでください。
- 開閉動作の範囲内に破損の恐れがある物や操作の障害となる物を置かないでください。
- ❗ 製品は決められた製品高さの範囲でご使用ください。範囲以上でご使用になると、スクリーンの落下、破損の原因になります。



製品全体図及び部品名称

小窓用スプリング式 マイテック小窓

※イラストは天井付けの場合です。



プルセット小窓
(オプション部品)
※ヌードタイプのみ対応

部品名

- ①サイドホルダーセット
- ②ブラケット
- ③セットバー
- ④ローラーパイプ
- ⑤ウエイトバーキャップ
- ⑥ウエイトバー
- ⑦ブルボール
- ⑧ブルコード
- ⑨ブルボールセット
- ⑩スクリーン
- ⑪メンテナンスシール

ヌードタイプ
(非ウォシャブルスクリーン
のウエイトバー仕様は
ヌードタイプになります。)

■ 付属部品

ブラケット	ブラケット用 仮止めテープ	ブラケット用 取付けネジ	巻きずれ調整シール
		 (ナベφ3.5×16)	
2 個	2 枚	2 本	1 枚

■ 製品重量

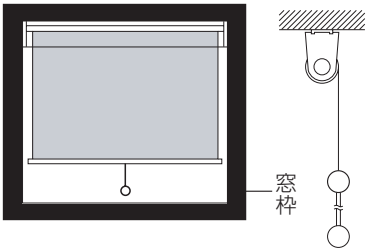
1.2kg (幅1000mm×高さ1000mmの場合)
※ 製品重量は、スクリーン種類によって多少異なります。

製品の取付け/取外し方法

■ 取付けの種類

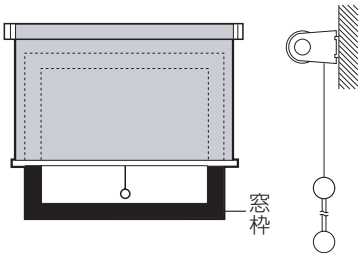
〈天井付けの場合〉

窓枠の内側に取付ける方法



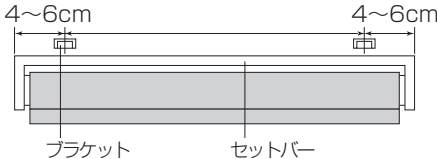
〈正面付けの場合〉

窓枠の外側や壁面に取付ける方法



■ ブラケットの取付け位置

- ① ブラケットはセットバーの両端から各4～6cmの位置に取付けてください。
※ 付属の仮止めテープを使用するとブラケットの仮止めができます。

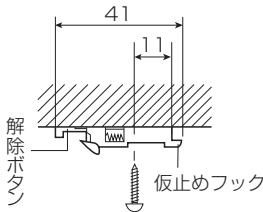


■ ブラケットの取付け方法

〈天井付けの場合〉

- 解除ボタンが窓側(奥)になる様に付属のブラケット取付けネジで取付けてください。
※ ブラケットは1個に対し、取付けネジは1本です。
右図はブラケットの長穴の中心までの寸法図です。

〈天井付けの場合〉

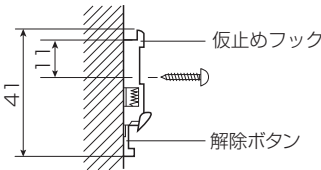


窓側

〈正面付けの場合〉

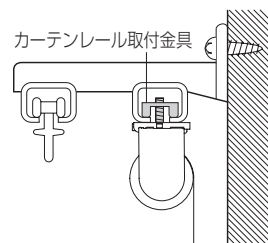
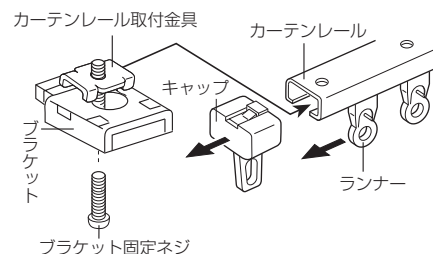
- 解除ボタンが下側になる様に付属のブラケット取付けネジで取付けてください。
※ ブラケットは1個に対し、取付けネジは1本です。
右図はブラケットの長穴の中心までの寸法図です。

〈正面付けの場合〉



〈カーテンレールへの取付け方法〉

- ① カーテンレールからキャップとランナーを抜いてください。
- ② カーテンレール取付け金具(オプション)をブラケットの上に置きブラケット固定ネジで仮止めしてください。
- ③ 仮止めたカーテンレール取付け金具をカーテンレールの溝に入れ、左右のバランスを見てブラケット固定ネジを締めて固定してください。
- ④ カーテンレールにキャップを取付けてください。



■ 製品本体の取付け方法

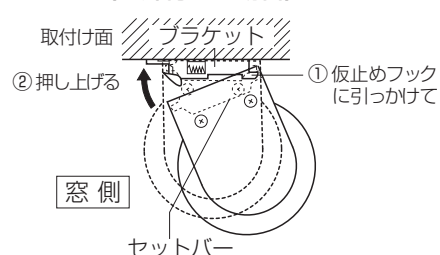
- セットバーの内溝をブラケットの仮止めフック(解除ボタンの反対側)に引っかけてください(①)。本体を奥に『カチッ』と音がするまで押してください(②)。



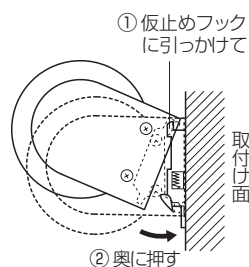
注意

- ① 本体取付け後、確実に本体がブラケットに固定されていることをご確認ください。

〈天井付けの場合〉



〈正面付けの場合〉



■ 製品本体の取外し方法

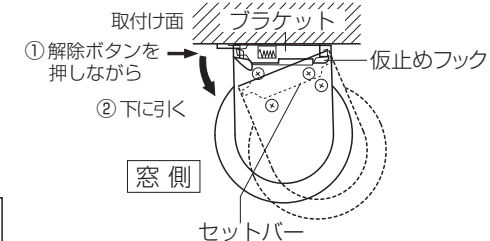
- ① スクリーンを巻き上げた状態で本体を持ち、ブラケットの解除ボタンを押しながら(①)セットバーを手前に引いてください(②)。
- ② 本体を仮止めフックから外してください。



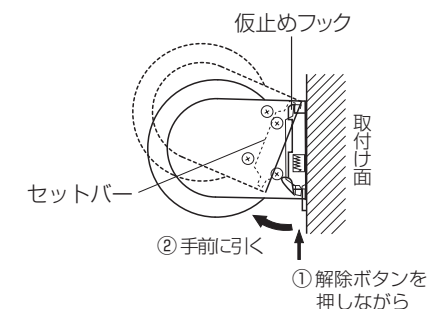
注意

- ① ブラケットから製品を取外す際は、必ず手で支えながら作業してください。

〈天井付けの場合〉



〈正面付けの場合〉



〈プルセット小窓(オプション)の場合〉

■ 取付け方法

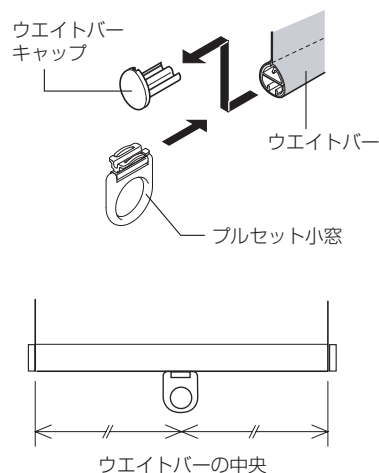
- ① ウェイトバーから片側のウェイトバーキャップを外してください。
- ② プルセット小窓をウェイトバーに差し込んでください。

※差し込む際はスクリーンを傷めないようご注意ください。

- ③ ウェイトバーの中央にプルセット小窓の位置を合わせ、最後にウェイトバーキャップをはめてください。

■ 取外し方法

- 取付方法の逆の手順(③→②→①)で取外してください。



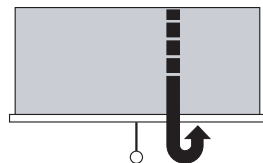
操作方法

! 注意

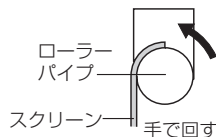
- ① 操作はプルボールを手で持って垂直に行ってください。また、プルボールは必ずウェイトバーの中央にセットしてください。プルボールの位置が片寄っていたり、斜め操作は巻きずれを起こし不具合の原因となります。

■ スクリーンの降ろし方

プルボールを真下に引き、手を離すと止まります。



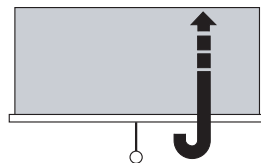
※スクリーンを強く降ろした時などに、引き切り(オーバーラン)状態になり、スクリーンが巻き上がらなくなることがあります。この場合は、ローラーパイプを直接手で少し回すと直ります。



■ スクリーンの上げ方

プルボールを3cm～4cm下に引き、手を離すと上がります。

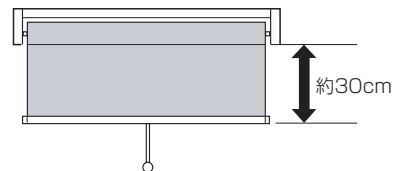
※スクリーンの上昇と停止は交互に作動します。



スクリーンの昇降スピード調整方法

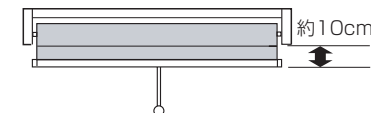
〈昇降を速(強)めたいとき〉

- ① スクリーンを約30cm引き出して止めてください。



〈昇降を遅(弱)めたいとき〉

- ① スクリーンを約10cm引き出して止めてください。



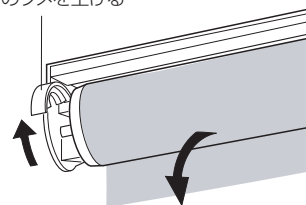
! 注意

- ① スクリーンを引き出し、手を離れた状態でスクリーンが止まっていることを確認した後に②以降の調整を行ってください。スクリーンが止まっていない状態で調整を行いますとスプリングの設定(初巻き)が解除されスクリーンが巻き上がらなくなります。

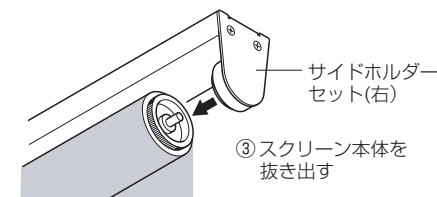
! 注意

- ① 両手で製品を持ってゆっくり取外してください。

- ① サイドホルダーセット(左)のツメを上げる



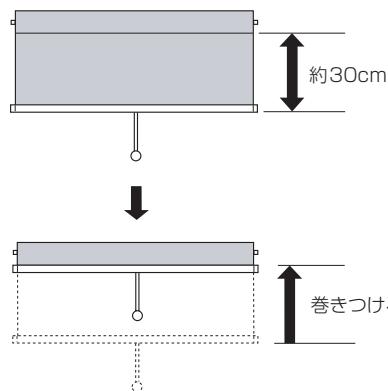
- ② スクリーン本体を手前に取り出す



- ③ スクリーン本体を抜き出す

〈昇降を速(強)めたいとき〉

- ③ スクリーンを手でローラーパイプに巻きつけてください。

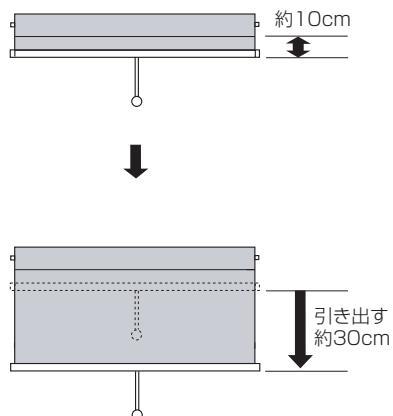


- ④ ③の状態のままで②と逆の手順でローラーパイプをサイドホルダーセットに取付けてください。

- ⑤ 昇降操作を2～3回くり返し、昇降スピードを確認してください。適度なスピードになるように①～④の作業をくり返し行ってください。

〈昇降を遅(弱)めたいとき〉

- ③ スクリーンを手で約30cm引き出して



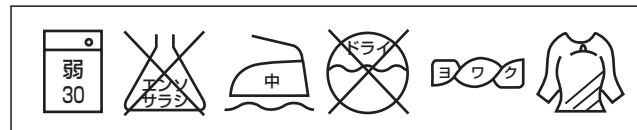
スクリーンの洗濯方法/ウォシャブル対応スクリーンのみ



注意

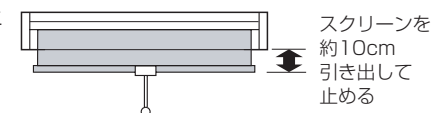
- ❗ ウォッシュャブル対応スクリーンには、スクリーン下部に洗濯絵表示ラベルが貼付してあります。必ずこのラベルを確認した後に、洗濯を行ってください。

洗濯絵表示ラベル



■スクリーンの取外し方法

- ① スクリーンを約10cmぐらい引き出して止めます。



注意

- ❗ スクリーンを引き出し、手を離れた状態でスクリーンが止まっていることを確認した後に②以降の調整を行ってください。スクリーンが止まっていない状態で調整を行いますと、スプリングの設定(初巻き)が解除されスクリーンが巻き上がらなくなります。

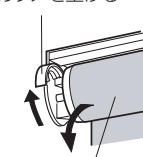
- ② サイドホルダーセット(左)のツメを上げて(①)、スクリーン本体を手前に取り出し(②)、サイドホルダーセット(右)からスクリーン本体を抜き取ってください(③)。



注意

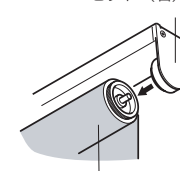
- ❗ 両手で製品を持ってゆっくり取外してください。

① サイドホルダーセット(左)のツメを上げる



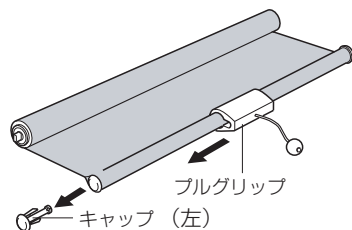
② スクリーン本体を手前に取り出す

サイドホルダーセット(右)

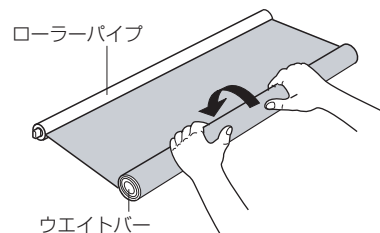


③ サイドホルダーセット(右)からスクリーン本体を取外す

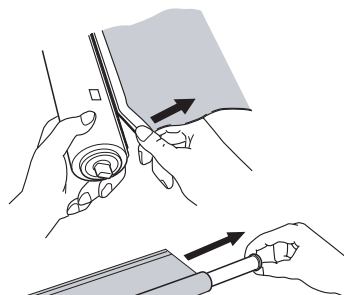
- ③ 左側のウエイトバーキャップを外し、プルグリップをスライドさせて外してください。



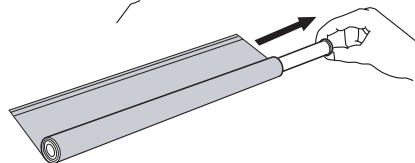
- ④ ローラーパイプが露出するまで、スクリーンをウエイトバーに巻きつけてください。



- ⑤ スクリーン上部のファスナー部分を引っ張り、ローラーパイプから取外してください。



- ⑥ ウエイトバーをスクリーンから抜き取ってください。



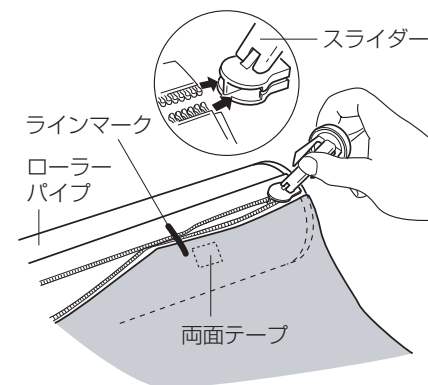
■スクリーンの洗濯方法

- ウォッシュブルスクリーンは通常のスクリーンに比べ、シワや縮みが発生しにくい生地になっていますが、洗濯機をご使用の場合は、下記の点にご注意ください。
- ①スクリーンはシワにならないように洗濯槽に入れてください。
- ②洗濯前に水をたっぷり入れて、しばらく漬け置きしてください。(10～20分程度)
- ③「手洗いコース」等弱水流のコースで、水をたっぷり入れて洗ってください。(2槽式の場合は弱で3分洗い～3分すすぎ～30秒脱水が目安です。)
- ④洗濯後はすぐに干してください。放置しますと、シワの原因になります。(乾燥機は使用しないでください。)
- ⑤乾燥後、シワが目立つようであれば、シワ取り剤(アイロン仕上げ剤)を利用してアイロンをかけてください。(あて布をし、中温度、ドライで)
- アイロンは横(幅)方向にかけると、シワが伸び美しく仕上がります。

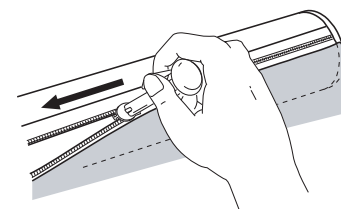
■スクリーンの取付け方法

- ①ローラーパイプとスクリーンのラインマーク位置を合わせ、両面テープで仮止めしてください。

- ②左側のウエイトバーキャップに付いているスライダーに、ファスナーの端をセットしてください。



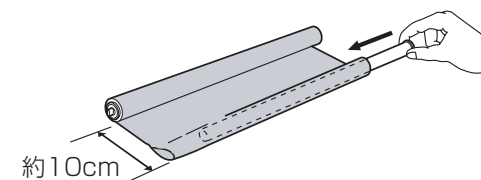
- ③ファスナーのかかり具合を確認しながら、スライダーを左に引いてください。



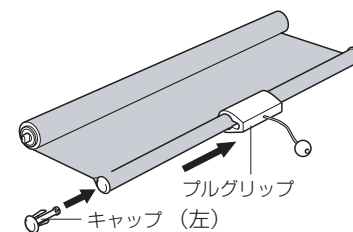
⚠ 注意

- ❗ スライダーがスムーズに引けないときは、スライダーを少し戻してからスクリーンのファスナーを伸ばして揃えてから引き直してください。無理に引きますと破損の原因になります。

- ④スクリーンを約10cm残して、ローラーパイプに巻きつけ、ウエイトバーを外した側から差し込んでください。



- ⑤プルグリップと左側のウエイトバーキャップを取付けてください。



- ⑥スクリーン本体をP.11「スクリーンの取外し方法②」の逆の手順でサイドホルダーセットに取付けてください。

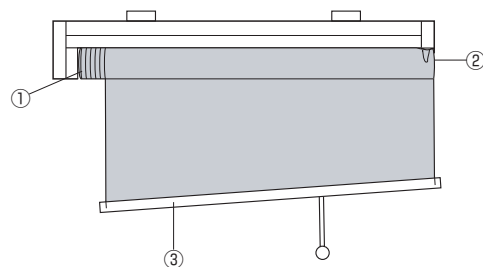
スクリーンの巻きずれ対処方法

- スクリーンが巻きずれていると、スクリーンを昇降できなくなったりスクリーンが破損（しわ、やぶれ等）する恐れがあります。万一、巻きずれが発生した場合は、以下の手順で巻きずれを補正してください。

■スクリーンが巻きずれた状態とは？

- ①スクリーンが「竹の子」状になる。
- ②スクリーンがサイドホルダーセットに当たる。
- ③ウエイトバーが左右均等（水平）にならない。

（スクリーンが右に巻きずれた例）



■巻きずれの補正方法

- ①まず製品が正しい状態になっているか確認します。

- ①製品が水平に取付けられているか？
- ②ブラケットが正しい位置に付いているか？
- ③プルボールがウエイトバーの中央にセットされているか？

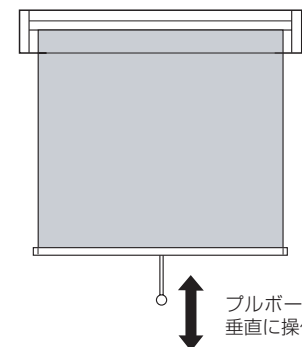
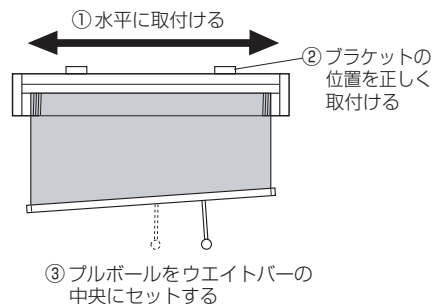
※正しくない場合は、正しい状態に直してください。

- ②プルボールを垂直に引いて、スクリーンを下まで引き出して止め、さらに3～4cm下に引き手を離してスクリーンを巻き上げます。

- ③②の昇降操作を2～3回繰り返してください。

- ④それでも巻きずれが直らない場合は、付属の巻きずれ調整シールを使って巻きずれを直してください。

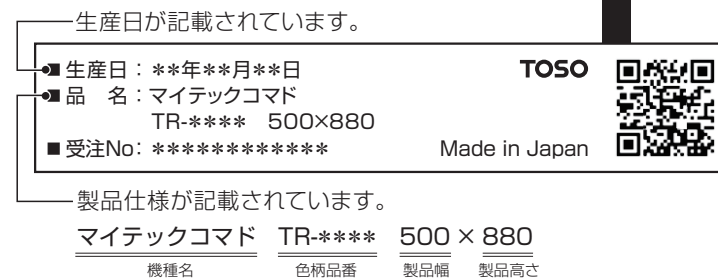
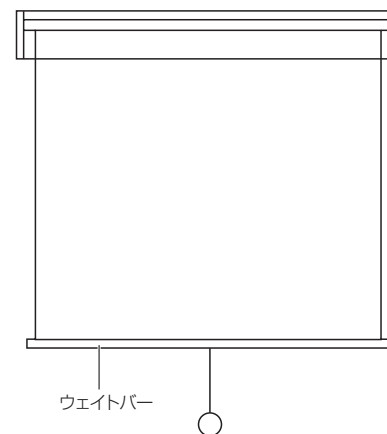
※巻きずれ調整シールの使用法は、調整シールの裏面をご覧ください。



プルボールを
垂直に操作する

メンテナンスシール

- お買い上げ製品には、ウエイトバー右裏側に製品情報を記載したメンテナンスシールを貼付しております。製品に関するお問い合わせや修理等の際にこのメンテナンスシールをご確認ください。



- メンテナンスシールにQRコードが印刷されている場合は、QRコード対応の携帯電話で撮影すると携帯サイトにアクセスでき、製品情報を入手することができます。

※シール設置場所・QRコードへの汚れ・破損などにより、読み取れない場合もございますのでご注意ください。

交換用スクリーンの発注方法

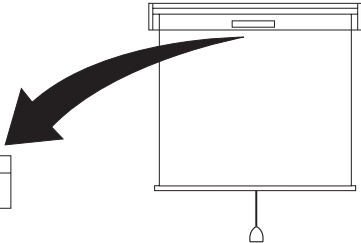
● 交換スクリーン（別売）でスクリーンを交換することができます。下記の手順でご発注ください。

＜ウォッシュابلスクリーンの場合＞

- ① スクリーンを下まで引き出すとローラーパイプの中央に、製品サイズ、スクリーン品番等が記されたシールが貼ってあります。
- ② 機種名、色柄品番、製品サイズ（製品幅×製品高さ）をお申しつけください。

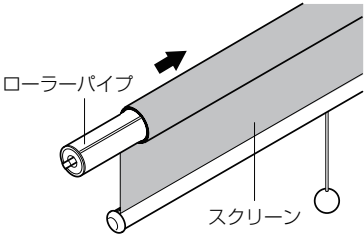
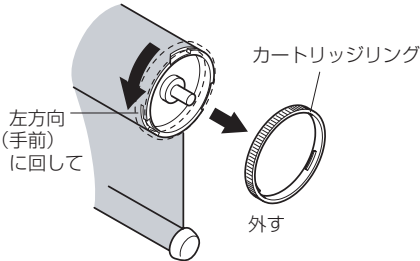
(シール)

製品サイズ		スクリーン品番	使用パネ	製造月日
幅	高さ		Y A B C D E F	



＜非ウォッシュابلスクリーンの場合＞

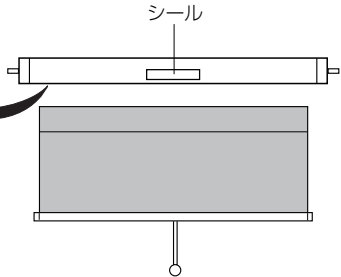
- ① スクリーン本体を外してください。取外し方法は、P.11「スクリーンの取外し方法①②」をご覧ください。
- ② スクリーン本体右側のカートリッジリングを、左方向（手前）に回して外してください。
- ③ スクリーン部をローラーパイプの右側から抜き取ってください。



- ④ ローラーパイプの中央に、製品サイズ、スクリーン品番等が記されたシールが貼ってあります。
機種名、色柄品番、製品サイズ（製品幅×製品高さ）をお申しつけください。

(シール)

製品サイズ		スクリーン品番	使用パネ	製造月日
幅	高さ		Y A B C D E F	



- ⑤ スクリーン部、(カートリッジスクリーン)、ローラーパイプ、セットバーのセット方法は、P.11～12「スクリーンの取外し方法②～④」の逆の手順で行ってください。
- ※ スクリーン部にローラーパイプを挿入する際、ローラーパイプの溝(凹)を、スクリーン部(カートリッジスクリーン)のパイプの溝(凸)に沿って挿入してください。

“故障かなと思ったら”

■こんなとき

現 象	原 因	処 置
●スクリーンが巻き上がらない。又は、スピードが極端に遅く、途中で止まってしまう。	➡ スプリングの設定(初巻き)が解除されているか極端に弱くなっていると思われます。	P.9「スクリーンの昇降スピード調整方法」をご覧ください。
●スクリーンが下がりきった状態から巻き上がらない。	➡ 引き切り(オーバーラン)状態にあると思われます。	P.8「操作方法」をご覧ください。
●スクリーンが巻き上がる際にサイドホルダーセットにあたってしまう。(巻きずれてしまう。)	➡ 製品が水平に取付いていない。 ➡ ブラケットが正しい位置に付いていない。 ➡ プルボールがウエイトバーの中央にセットされていない。	P.14「スクリーン巻きずれ対処方法」をご覧ください。

お手入れ方法

- 日頃のお手入れはハタキやハンドモップ等でほこりを落としてください。
- 水拭きや水のかかる場所でのご使用は、スクリーンが変色する場合がありますので避けてください。
- スクリーンは特殊樹脂加工されていますので折ったり曲げたりするとシワやクセが残りに戻らない場合がありますので充分注意してください。

梱包材の処理方法

- 梱包材は可燃ゴミと不燃ゴミに分別して処分してください。
- 各自治体により分別基準が異なりますので、それぞれの自治体の規定に従って処理してください。

製品保証書

この度は、弊社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。当製品は、厳密な品質管理のもとお届けしておりますが、万一、保証期間内に故障した場合には、アフターサポート規定に基づき修理をさせていただきます。

保証期間：お買い上げ日より3年間

アフターサポート規定

1. 取扱説明書・本体注意ラベル・タグにしたがった正常な使用状態で保証期間内に故障した場合は、無料で修理させていただきます(スクリーン部は対象外)。但し、当社が指定する消耗部品の無料修理サービスはお買い上げから1年以内とさせていただきます。無料修理サービスをご依頼になる場合は、メンテナンスシールをご確認のうえ、お買い上げの販売店へご依頼ください。転居などにより、お買い上げいただいた販売店が不明な場合は、最寄りの弊社営業所へお問い合わせください。
2. 保証期間内でも次の場合は有料修理サービスとなります。
 - (イ) 本書の提示が無い場合。
 - (ロ) お買い上げ後の輸送、落下などによる故障、損傷。
 - (ハ) 使用上の誤り、又は不当な修理や改造もしくは、純正部品以外の使用による故障、損傷。
 - (ニ) 火災・地震・雷・風水害その他天災地変など、外部要因による故障及び損傷。
 - (ホ) 特殊環境（強度の湿気、煙害、薬品のガス、公害）による故障及び損傷。
 - (ヘ) お買い上げ後の取付場所の移動による故障及び損傷。
 - (ト) 当社カタログに記載している仕様以外の製品についての故障及び損傷。
3. 本書は、日本国内においてのみ有効です。

トソー株式会社 本社 〒104-0033 東京都中央区新川1-4-9

● お問合せは、お買い上げの販売店または下記事業所へお申しつけください。

札幌支店	tel.011-841-3731 fax.011-841-9926 〒003-0012	札幌市白石区中央2条3丁目3-10
盛岡営業所	tel.019-645-5271 fax.019-645-5275 〒020-0134	盛岡市南青山町4-8
仙台支店	tel.022-288-8415 fax.022-287-3110 〒984-0012	仙台市若林区六丁の目中町31-35
新潟営業所	tel.025-267-1241 fax.025-231-0506 〒951-8154	新潟市掘割町3-4 川崎ビル1F
宇都宮営業所	tel.028-610-7891 fax.028-610-7892 〒320-0847	宇都宮市滝谷町20-20 SSビル1F
つくば営業所	tel.0297-52-1551 fax.0297-52-1552 〒300-2494	茨城県つくばみらい市小絹551
さいたま支店	tel.048-657-9221 fax.048-657-9191 〒330-0810	さいたま市大宮区土手町1丁目2 JA共済埼玉ビル2F
東京支店	tel.03-3552-2961 fax.03-3552-4460 〒104-0033	東京都中央区新川1丁目14-5 金盃第三ビル4F
東京西営業所	tel.03-5358-3391 fax.03-5358-3392 〒151-0073	渋谷区笹塚3-2-15 第Ⅱヘルブラザ1F
多摩営業所	tel.042-525-0431 fax.042-525-0433 〒190-0013	立川市富士見町1丁目21-18 クラン岩崎1F
千葉営業所	tel.043-245-6801 fax.043-245-6805 〒260-0027	千葉市中央区新田町10-15 誠寿ビル1F
横浜支店	tel.045-473-2700 fax.045-473-9660 〒222-0033	横浜市港北区新横浜2-17-2 フォンターナ新横浜4F
静岡営業所	tel.054-283-5011 fax.054-283-5120 〒422-8043	静岡市中田本町60-7
長野営業所	tel.026-225-5901 fax.026-225-5902 〒380-0928	長野市若里1丁目21-24 八州若里第二ビル1F
名古屋支店	tel.052-858-2420 fax.052-858-2461 〒466-0033	名古屋市中区昭和区台町1丁目23
金沢営業所	tel.076-240-2300 fax.076-240-3791 〒920-0364	金沢市松島2丁目209
京都営業所	tel.075-252-0371 fax.075-252-0378 〒604-0847	京都市中京区烏丸通押小路上ル秋野町535 日土地京都ビル3F
大阪支店	tel.06-6260-0821 fax.06-6260-0822 〒541-0053	大阪市中央区本町4-1-7 第二有楽ビル6F
神戸営業所	tel.078-382-0173 fax.078-382-0190 〒650-0025	神戸市中央区相生町4丁目4-14 グランダブル2F
岡山営業所	tel.086-244-2222 fax.086-244-1612 〒700-0971	岡山市野田3丁目23-7
広島支店	tel.082-232-0439 fax.082-232-0432 〒733-0037	広島市西区西観音町9-7 なかよしビル1F
高松営業所	tel.087-868-0434 fax.087-868-0491 〒760-0079	高松市松縄町50-13
福岡支店	tel.092-947-2661 fax.092-947-2706 〒811-2414	福岡県粕屋郡篠栗町和田805-2
鹿児島営業所	tel.099-259-2911 fax.099-259-2808 〒890-0055	鹿児島市上荒田町39-10 RJR上荒田102

◎お客様相談室 tel.03-3552-1002